校友会上海支部例会報告（2021 年 5 月 16 日実施）

5 月の例会は「老外街」の一角にあるドイツ料理「Papas Bierstube 徳国郷村西餐厅」に 8 名が集まり開催されました。当日は生憎暑く、俄か雨予報もあり、テラスを諦め、屋内にて集合。

参加者の皆さんの変わらぬ笑顔に会えて、またコロナ禍でそれぞれ状況がままならず変化の多い中で、貴重な情報交換の場となりました。
メーデー連休を上海で過ごした方が多く、過去の国内旅行の話や、次に行くならここへ行きたい！
などの話で盛り上がりました。

上海では中国製ワクチンが徐々に外国人駐在員にも広まり、これまで以上に日常を回復しつつあります。その一方、今も公共交通や百貨店等の人が多い場所では健康コードの提示・マスク必携の所も多く、入国にはホテル隔離 14 日間+1 週間の在宅健康観察・その間 6 回の核酸検査(PCR 検査)が課せられるなど厳しく対策されています。
今後もまだ緊張感は続くと思われます。一日も早く世界の感染状況が良くなるよう、皆様のご健康を心よりお祈りします。次回もまたより多くの上海支部メンバーのご参加を期待しています。





（1992 年 3 月英米語学科卒　奥原順子）